



平成30年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会

福井県ラウンド 開催要項

- 主催 公益財団法人日本バレーボール協会
- 後援 福井県バレーボール協会
- 主管 全日本空輸株式会社、久光製薬株式会社、日清製粉グループ、丸大食品株式会社、日本生命保険相互会社
- 協賛 ミズノ株式会社、アシックスジャパン株式会社
- 1 開催趣旨 本大会は、本協会に登録する全てのチーム(中学生以上)が、1年度を通して「天皇杯」「皇后杯」の名を冠するに相応しい、日本の6人制バレーボール最高のチームとなる栄誉を競うと同時に、バレーボールの競技を通じて体力、人格、精神力の向上を目指し、また日本バレーボール界の発展と普及に寄与することを目指して開催する。
- 2 開催期間 平成30年7月8日(日)
- 3 会場 男子会場: 丹生高校体育館
住所: 丹生郡越前町内郡41-18-1、TEL: 0778-34-0027
- 女子会場: 坂井高校体育館
住所: 坂井市坂井町宮領57-5、TEL: 0776-66-0268
- 4 参加資格 平成30年度公益財団法人日本バレーボール協会個人登録規定により、有効に登録されたチームおよび選手で構成された中学生以上のチーム。ただし、本大会においては同一チームから2チーム出場を認める。
- 5 競技規則 平成30年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- 6 競技方法 予選リーグ戦後、決勝トーナメント戦を行う(3セットマッチ)。
ただし、参加チーム数によっては予選方法を変更する場合がある。
※優勝チームはブロックラウンドへ出場する。
北信越ブロックラウンド(長野県長野市): 10月13日(土)、14日(日)
今大会は下記に該当するチームをシードとする。
①国体成年男女県予選会優勝チーム
②クラブカップ男女6人制県予選会優勝チーム
③北信越大学最上位チーム
④インターハイ県予選会ベスト4チーム
⑤本大会前年度優勝、準優勝チーム
- 7 使用球 天皇杯・皇后杯大会オリジナル球を使用する。
男子: ミカサ製(MVA300) / 女子: モルテン製(V5M5000)
- 8 チーム構成 1チームは部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー各1名、(チームスタッフ)、選手18名以内とする。必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。申込み後の選手変更は競技者番号を含めて認められない。なお、各試合の役員・選手14名は、試合ごとにエントリーする。
監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者に基づく、公認バレーボールコーチ・公認バレーボール上級コーチ、公認バレーボール指導員、公認バレーボール上級指導員の有資格者とする。ただし、今大会においては「有資格者であることが望ましい。」こととし、資格がなくてもベンチに入ることができる。
- 9 参加申込 MRSにて申し込むこと。
- 10 参加料 1チーム5,000円とする。(1度納入された参加料は原則として返金しない)
〈振り込み先〉 ※チーム名で振り込むこと
〈口座〉 福井銀行 大野支店 普通預金 6013070
〈名義〉 福井県バレーボール協会 事務局 澤 大輔
- 11 申込締切 平成30年6月21日(木) 23:00まで
- 12 抽選 福井県バレーボール協会による責任抽選とする。
- 13 競技日程 開場: 8時
代表者会議: 8時30分(予定)
開会式: 9時(予定)
閉会式: 全試合終了後
- 15 その他 (1) 抽選結果については決定後、福井県バレーボール協会HPと参加チームへのメールにて通達する。
(2) ベンチに入るチーム役員は、規定のマークを明確に判別できる位置(左胸部が望ましい)につけること。また服装は、選手と異なるトレーニング・ウェアを着用する場合、統一されたものを着用すること。
(3) 同一チームより2チーム参加したい場合は、事前に競技委員長へ連絡すること。ただし、2チーム参加の場合、参加料は2チーム分となる。
(4) 選手の健康管理については、チーム及び個人の責任として受け止め、十分に注意すること。競技中の負傷については、応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
(5) 本大会に参加するチーム及び個人は会場使用のマナー(ゴミの処理、シューズの区別、喫煙等に関すること)を遵守し、さらには環境保全(移動はできるだけ乗り合いとするなど)を心掛けること。今大会は学校施設を使用するため、学校敷地内は禁煙とする。
(6) 各試合の審判員は、原則参加チームで行う。
(7) 競技協力員を中心に準備、後始末の協力をすること。

※本大会の問合せ 福井県バレーボール協会 競技委員長 田中 淳也(090-2832-1596)